

1t油圧パンタジャッキ コンパクトα

取扱説明書

生産物賠償責任(PL)保険付

この度は、1t油圧パンタジャッキ コンパクトα FA-60をお買い求めいただきましてありがとうございます。

この「取扱説明書」はFA-60を安全にご使用いただく為のガイドブックです。

弊社製1t油圧パンタジャッキを初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用された経験をお持ちの方にも、知識や操作方法を再確認する上でお役に立つものと考えております。

この「取扱説明書」を最後までよくお読みになり、内容をご理解した上で正しくご使用くださいますようお願い致します。又、常にこの「取扱説明書」をお手元に置いて作業することをおすすめ致します。

※一部の車種でジャッキセット位置の形状や位置、ジャッキセット位置がない、エアロバーツ装着(純正品を除く)等により使用できない場合があります。詳しくは、カーディーラー又は販売店にご相談ください。
※記載されているイラストはイメージです。

もくじ

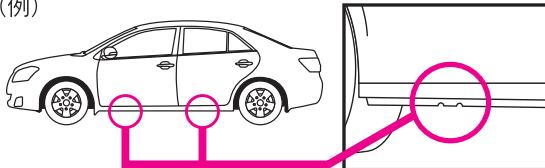
①安全に関するご注意	P.1
②ジャッキの使用条件	P.2
③使用用途	P.3
④各部の名称	P.3
⑤有効範囲	P.3
⑥ジャッキセット位置の確認	P.4
⑦ジャッキアップ手順	P.5~7
⑧お手入れ	P.8
⑨エアー抜きの方法	P.8
⑩ジャッキオイルの補充及び点検方法	P.9
⑪故障かなと思った時	P.10
⑫製品仕様	P.10
⑬保証規定／保証書	P.11

① 安全に関するご注意 ※本製品を安全に正しくお使いいただく為に必ずお守りください。

本製品をご使用前に取扱説明書(本書)をよく読み、十分理解した上で使用してください。
取扱説明書には重要事項の説明が記載されています。記載内容に従わずに使用した場合、重大な事故につながります。

本製品はサイドジャッキアップ専用です。下記ジャッキセット位置以外は使用できません。

(例)



ジャッキセット位置の目安
車を下から見た図



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容、及び物的(車両等)損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品を用途以外の目的で使用しないでください。
- 本製品を、分解・改造しないでください。
- 一部の車種でジャッキセット位置の形状や位置、ジャッキセット位置がない、エアロバーツ装着(純正品を除く)等により使用できない場合があります。
- 本製品は自動車をジャッキアップ又はダウンする為だけに専用設計されており、車両をジャッキアップした状態で維持する目的で設計されていません。
- パワーユニット部の安全弁は出荷時に安全荷重に調整されている為、触らないでください。
- 本製品の最大耐荷重は1t(1000kg)です。耐荷重以上の荷重をかけると、本製品が荷重に耐えられず破損し、車両が落下する場合があります。
- 本製品を使用する前に、無負荷状態でジャッキアップ・ダウンテストを行ってください。もし不具合があれば、使用せずに、販売店又は弊社までご連絡ください。
- 電子制御アサスペンション装着車は、ジャッキアップ前に車両の取扱説明書をご確認の上作業をしてください。車高がわり思われる事故につながる恐れがあります。
- 自動車をジャッキアップ又はダウンする際、車両の周囲3m以内に人(特に子供)や物、他の車両等がないことを確認してから作業を行ってください。
- 使用前又は使用中、本製品に異常が発生した場合(オイル漏れ、変形、動きが悪い等)は、ただちに使用を中止し、販売店又は弊社までご連絡ください。
- ジャッキアップする際は、水平で強固な場所で行ってください。水平でない場所、接地面が軟弱な場所でジャッキアップすると、荷重により本製品が傾き、車両が落下する場合があります。
- ジャッキアップする場合は、安全の為、輪止め等を使用してください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的(車両等)損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品は-20℃~60℃の範囲の温度環境で使用してください。
- 本製品を業務用で使用しないでください。
- ジャッキダウン中に、本製品の可動部分に手等がかかると、はまれる危険性がある為、ぶれないようにしてください。
- 本製品を持ち運ぶ際は、本体のすきま等で手や足等をはさまないよう十分気をつけて取り扱ってください。
- 本製品を持ち運ぶ際に重いと感じた場合は、無理に一人で運ばないでください。
- 本製品を自動車以外の目的で使用しないでください。

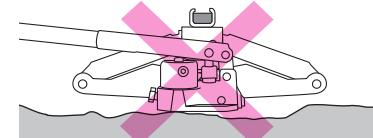
② ジャッキの使用条件

下記のような場合は使用できません

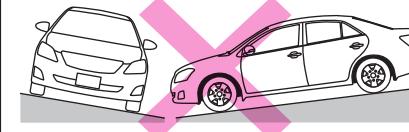
柔らかい地面はめり込む



凸凹な地面

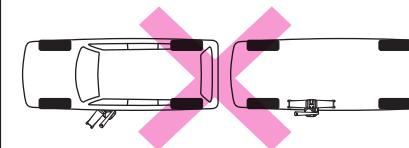


傾斜した場所

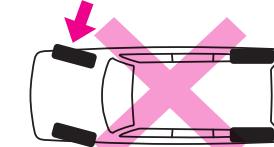


傾斜した場所や勾配のある道路では使用しないでください。

サイドに対して斜め又は水平にジャッキを入れている

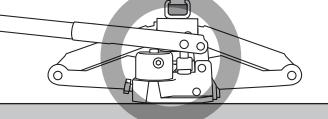


タイヤの向きがまっすぐになっていない

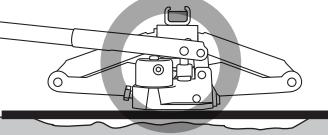


下記のように対応して使用してください

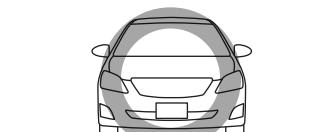
強固な場所



鋼板等の強固な板を敷く



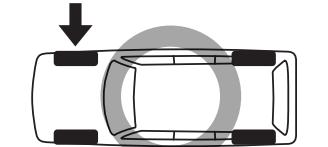
水平で強固な場所



サイドに対して直角にジャッキを入れる



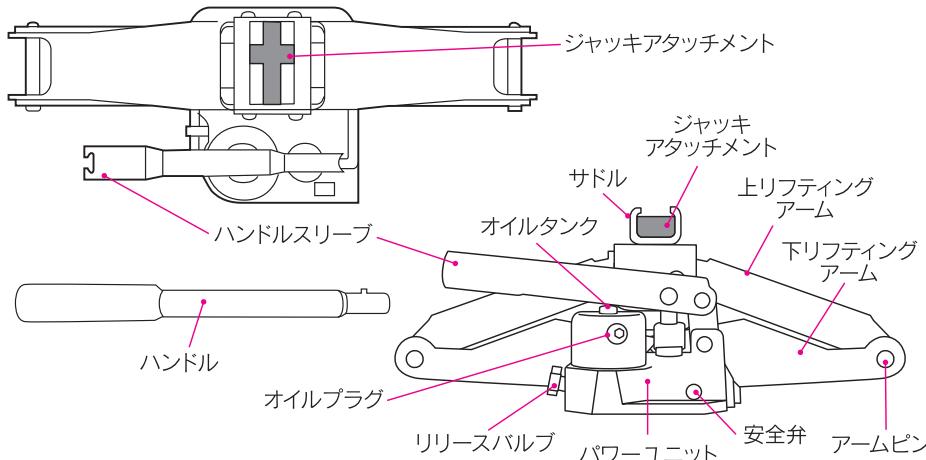
タイヤの向きをまっすぐにする



③ 使用用途

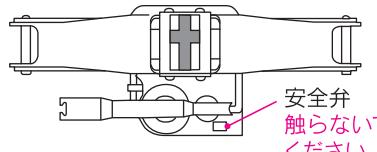
本製品は自動車のタイヤ交換、タイヤチェーンの着脱や整備の際に自動車をジャッキアップ又は、ジャッキダウンさせる目的で使用するジャッキです。
本製品はジャッキアップ状態を維持したままでの作業等には使用できません。
※本製品を業務目的で使用しないでください。
※本製品を自動車以外の目的で使用しないでください。
※ジャッキスタンドの併用をおすすめします。

④ 各部の名称

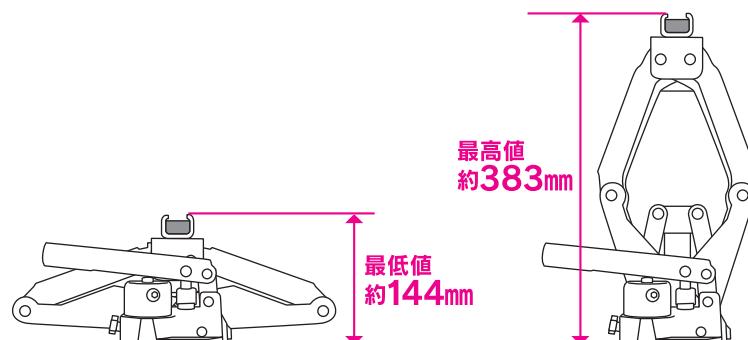


パワーユニットの安全弁について

本製品には安全弁が付いており、出荷時に安全荷重に調整されている為、触らないでください。
(ジャッキに安全荷重以上の負荷がかかつた場合、作動しないようになっています。)



⑤ 有効範囲

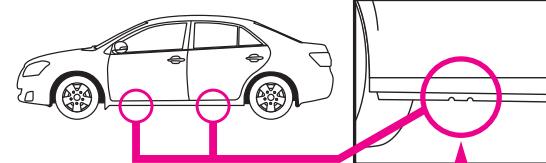


作業する前に

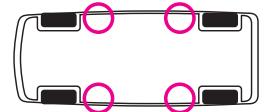
手袋、膝等を保護する物を用意し、ジャッキのボルトのゆるみやガタつき等がないか、使用前に点検を行ってください。
ジャッキアップ時は、2人以上で作業されることをおすすめします。

⑥ ジャッキセット位置の確認

(例)

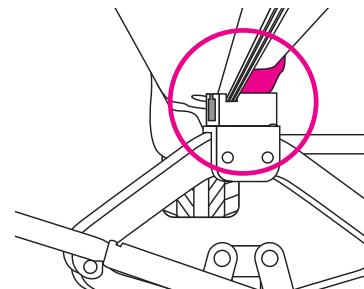


ジャッキセット位置の目安
車を下から見た図

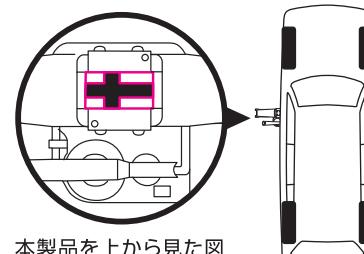


ジャッキセット位置の形状は下の図のどちらですか？

ジャッキセット位置に
膨らみがある又は
わからない

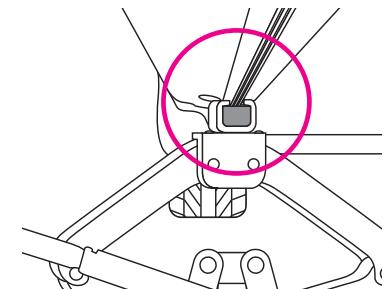


サドルの向きを下の図のように
合わせてください。

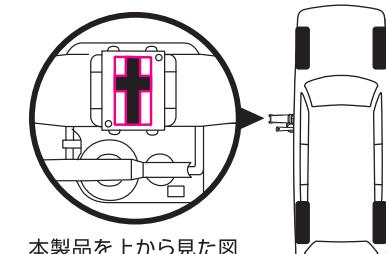


本製品を上から見た図

ジャッキセット位置に
膨らみがない



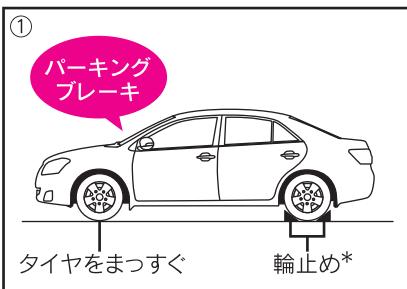
サドルの向きを下の図のように
合わせてください。



本製品を上から見た図

⑦ ジャッキアップ手順

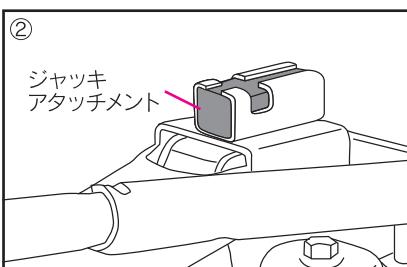
※説明はジャッキセット位置の奥側に膨らみがある又はわからない場合です。



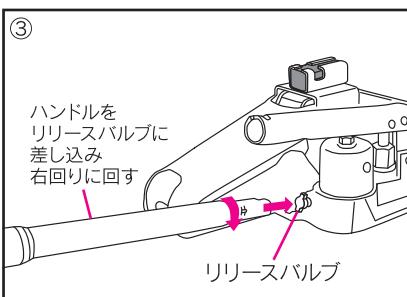
①パーキングブレーキを確実にかけ、下記「輪止めの位置」を参照しタイヤに輪止め(別売)をセットする。

* 輪止めの位置

ジャッキアップ場所	輪止めの位置
フロント	左 側 右側後輪
	右 側 左側後輪
リヤ	左 側 右側前輪
	右 側 左側前輪

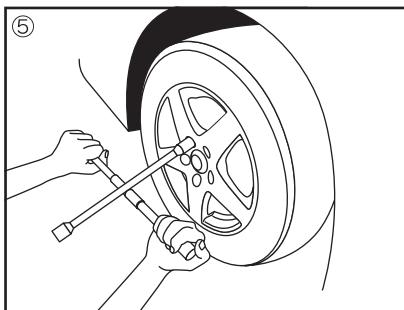
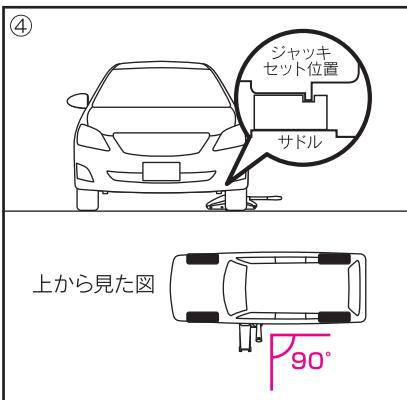


②ジャッキアタッチメントがサドルにセットされているか確認する。(付属のジャッキアタッチメントを使用してください。)



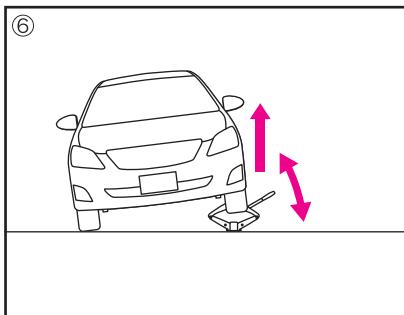
④ハンドルをハンドルスリーブに差し込み、ジャッキのサドルを、車のジャッキセット位置*の下まで入れ、ジャッキアタッチメントがジャッキセット位置に軽く接触するまでハンドルを上下に動かしサドルを上げる。

*ジャッキセット位置:車載の取扱説明書で確認してください。



⑤ジャッキアップ前にホイールナットを1/2回転ほどゆるめておく。

ゆるめる
手順



⑥ジャッキアタッチメントがジャッキセット位置に確実に接触しているか確認後、ハンドルを上下に動かし、サドルをジャッキアップする。

※サドルが全く上がらない場合は、

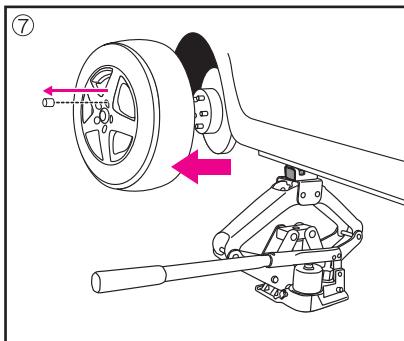
P.10の「故障かなと思った時」の①を参照してください。

※サドルが途中までしか上がらない場合は、

P.10の「故障かなと思った時」の②を参照してください。

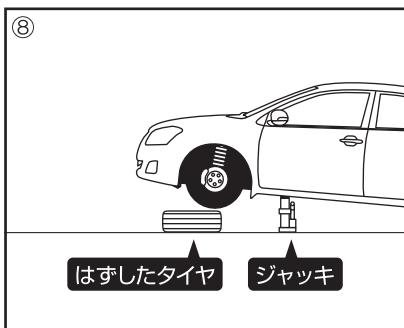
※サドルが自然に下がる場合は、

P.10の「故障かなと思った時」の③を参照してください。

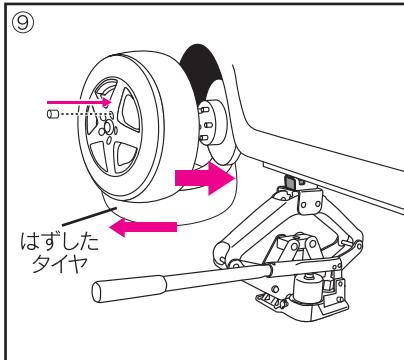


⑦タイヤが浮くまで上昇させ、クロスレンチ等でホイールナットをはずし、タイヤをはずす。

ゆるめる
手順

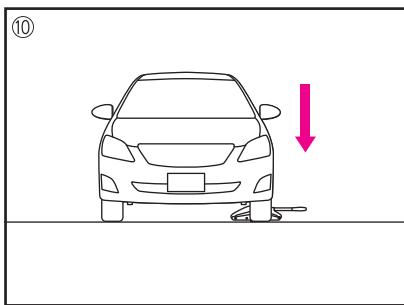


⑧万が一の事を考慮し、はずしたタイヤを車体の下に敷く(意匠面を上にする)。



⑨交換用タイヤを取り付け、
ホイールナットを手で回して取り付けた後、
クロスレンチ等を用いて仮締めし、
車体の下に敷いたタイヤを取り出す。

締める
手順



⑩作業後、リリースバルブを左回り(反時計回り)に
ゆっくり回しジャッキダウンする。

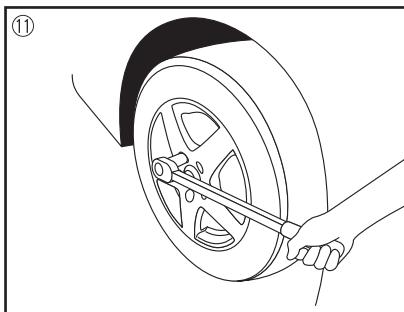
リリースバルブをゆるめる

*リリースバルブをゆるめる際は、
締めた状態から3回転以上
回さないでください。
故障の原因になります。



*サドルが途中までしか下がらない場合は、

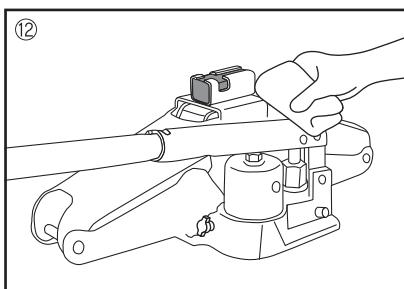
P.10の「故障かなと思った時」の④を参照してください。
*サドルが下がりきらない場合は、
P.10の「故障かなと思った時」の⑤を参照してください。



⑪ジャッキを安全な所まで移動してから、
トルクレンチを使用し、規定のトルク数値で
ホイールナットを本締めする。

*完了後、100km程、走行していただき、再度規定の
トルク数値でホイールナットを締めてください。
*締付トルクは、車の取扱説明書又は
カーディーラー等でご確認ください。

締める
手順

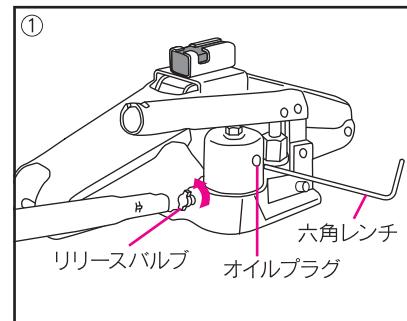


⑫作業が終了したらサドルや
リフティングアーム等に付着した泥、
オイル、グリス、水滴等の汚れを
きれいに拭き取る。

⑧お手入れ

- ジャッキを使用しない時は、錆などによる作動不良防止の為、
サドルを最低位置に下げておいてください。
- ジャッキは常にきれいにして、可動部に適時注油してください。
- オイルの量が減少した場合、適正量を補充してください。
- 保管する際は、錆や作動不良などの故障の原因になりますので、
雨や雪の当たる所及び湿気の多い所等には保管しないでください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、リリースバルブ、オイルプラグ等が
しっかりと締まっているか確認してください。

⑨エアー抜きの方法

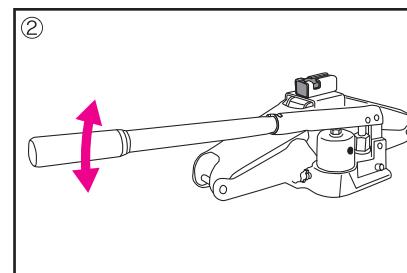


①リリースバルブを1回転ゆるめ、
オイルプラグを六角レンチ*等ではすす。

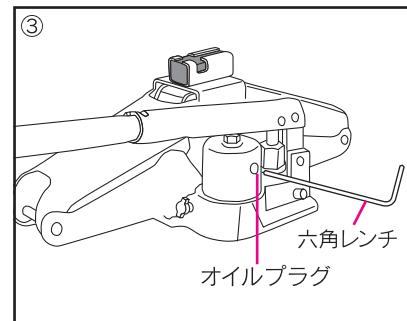
リリースバルブをゆるめる
※リリースバルブをゆるめる際は、
締めた状態から3回転以上
回さないでください。
故障の原因になります。



*六角 平径8mm

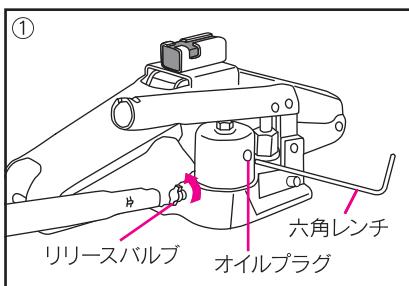


②ジャッキオイルの量が適量か確認し、
ハンドルをハンドルスリーブに差し込み、
すばやく5~6回可動範囲いっぱいに
ハンドルを上下させる。



③再度ジャッキオイルの量が適量か確認し、
作業が終了したら、
オイルプラグを六角レンチ等で締め付け、
元の状態に戻す。

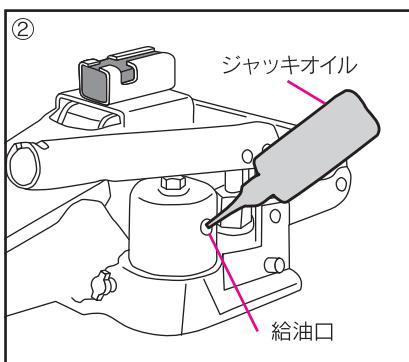
⑩ ジャッキオイルの補充及び点検方法



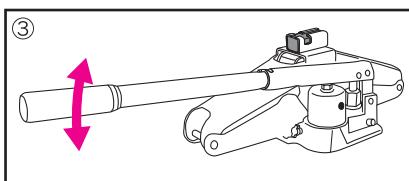
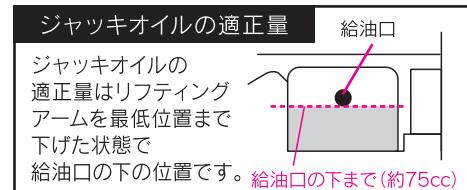
① オイルプラグを六角レンチ*等ではすし、
リリースバルブをゆるめる。

リリースバルブをゆるめる
※リリースバルブをゆるめる際は、
締めた状態から3回転以上
回さないでください。
故障の原因になります。

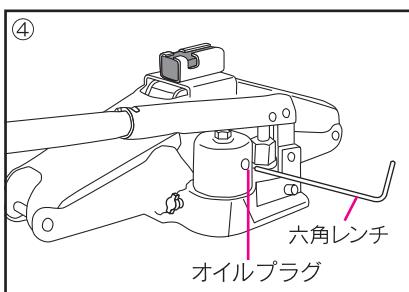
*六角 平径8mm



② ジャッキオイルの量が適正量に満たない場合は、
ジャッキオイルを給油口から少量ずつ注入し、
適正量まで補充する。
※ジャッキオイル注入中にゴミが入らないように注意して
ください。
※入れ過ぎには注意してください。



③ ハンドルをハンドルスリーブに差しこみ、
すばやく5~6回可動範囲いっぱいに
ハンドルを上下させる。



④ 作業が終了したら、
オイルプラグを六角レンチ等で締め付け、
元の状態に戻す。

- △注意**
- 火気のある場所、又はその近くでオイル交換及び補充をしないでください。
 - ジャッキオイルは指定されたものを使用してください。エンジンオイルやその他のオイルは粘度等が違う為、作動不良の原因となるので使用しないでください。
- ジャッキオイル:F-62ジャッキオイル又はISO VG32相当の一般作動油を使用してください。

⑪ 故障かなと思った時

症 状	原 因	対 处
① 全く上がらない	リリースバルブが しっかりと締まっていますか。	リリースバルブを しっかりと締めてください。
	エアーが混入していませんか。	エアー抜きをしてください。P.8参照
	ジャッキオイルが不足していませんか。	ジャッキオイルを適正量 補充してください。P.9参照
② 途中までしか上がらない	ジャッキオイルが不足していませんか。	ジャッキオイルを適正量 補充してください。P.9参照
	ジャッキオイルが 多く入り過ぎていませんか。	余分なジャッキオイルを抜き、 適正量にしてください。P.9参照
③ 自然に下がる	リリースバルブが しっかりと締まっていますか。	リリースバルブを しっかりと締めてください。
④ 途中までしか下がらない	パワユニットに問題があります。	販売店又は弊社までご相談ください。
⑤ 下がりきらない	可動部に注油されていますか。	適時注油してください。
	構造上無負荷時は下がりません。	サドル部を踏んで下げてください。

※その他、原因や異常箇所が判らない場合は使用を中止して、販売店又は弊社までご相談ください。

※本製品は業務用として使用できません。

⑫ 製品仕様

最大耐荷重	1000kg(最大揚程質量) 9.8kN
最低/最高地上高	約144mm/約383mm
ストローク	約239mm
本体サイズ	約383(W)×144(H)×133(D)mm
重さ	約6.8kg
ハンドルサイズ	約320mm
ハンドル取付後全長	約620mm
サドルサイズ	約55(W)×25(H)×40(D)mm
作動油	油圧潤滑油(ISO VG32)
油量	約75cc
使用温度範囲	-20°C~60°C